

理 念

（平安の都・京都）

- ・ 794年、永遠の平和と安寧への祈りをこめた都が京都に誕生しました。平安京です。
- ・ 以来、千二百有余年、京都は「平安」を理想とし、その悠久の歴史の中で、山紫水明の美しい自然と、文化、芸術、産業、学問、宗教、それらの根底に連綿と受け継がれている市民の暮らしの美学、生き方の哲学を育んできました。これら京都の有する宝は、日本の宝、世界の宝ともいえます。
- ・ 文化による世界との交流と平和の実現を「世界文化自由都市宣言」で高らかに掲げ、平和を基調とした都市の営みを続ける京都は、絶えずその「宝」を磨き、輝き続ける世界でも稀有の都市であり、今なお国内外の多くの旅人をひきつけてやみません。

（観光の意義）

- ・ 「旅」とは、人に出会い、風景に出会い、心打たれる出来事に出会い、そして新たな自分自身に出会うこと…。人は「旅」を通して、気づき、学び、癒され、元気をもらい、成長し、人生が深く、豊かになります。
- ・ また、人々の来訪は、地域に活気を与え、暮らしの支えとなり、働く人々や住民の幸せの向上をもたらすとともに、地域の文化や自然、まちなみと調和した魅力的なまちづくりが進展するなど、地域を次世代に維持・継承・発展させる原動力ともなります。
- ・ そして、人と人とのふれあい、交流により、住民の地域に対する誇り、愛着が育まれるとともに、お互いの地域や国に対する理解が深まり、世界の平和、友好親善につながります。

（京都観光と持続可能なまち）

- ・ 京都はこれまでから、国内外の人々に「旅」を提供しつつ、こうした観光が持つ力を活かして、地域経済の活性化を図るとともに、地域の文化や景観、コミュニティの継承・発展に取り組み、また世界の友好親善に貢献してきました。
- ・ しかし今、少子高齢化や生活様式の変化による文化の担い手不足、地域コミュニティの衰退、地球温暖化、災害等の危機の発生、そして観光客の急増等に伴う混雑やマナー違反など、様々な課題が京都の「宝」を支えてきた地域の暮らしに影響を及ぼしています。
- ・ 京都を持続可能なまちとするためにも、これらの課題を解決し、京都の「宝」に更なる磨きをかけ、将来に継承しなければなりません。

（新たな京都の魅力の創出）

- ・ そして京都は、先人たちが築いてきた伝統を継承し、それらを保存・活用し、常に新しいものに挑戦する進取の精神と国内外の人々との多様な交流により、絶えず新たな「宝」を創造してきました。
- ・ 観光は京都の「宝」の消費者であってはなりません。これからも、誰しもが責任ある「持続可能な観光」に取り組み、京都を享受し楽しみ、交流を深めることにより高めあい、ともに新たな「宝」を創出していくことが重要です。

（策定目的）

- ・ これらを背景に、観光事業者・従事者等、観光客、市民がお互いに尊重しあい、京都が京都であり続けるための「持続可能な観光」を、これまで以上に推進し、SDGsの達成にも貢献していくために、それぞれの主体に大切にいただきたいこととして、また市民については、旅行者をあたたかく迎えるなどの京都市民憲章を具体的実践するものとして、以下の行動基準を策定します。
- ・ なお、行政、観光協会等の関係者は、本行動基準に基づいて、様々な取組を行っていくものとします。

～ 京都が京都であり続けるために、
観光事業者・従事者等、観光客、市民の皆様とともに大切にしていきたいこと ～

行 動 基 準

<観光事業者・従事者等の皆様と大切にしていきたいこと>

～地域とともに事業が持続的に発展していくために～

(地域文化・コミュニティへの貢献，市民生活と観光の調和)

- 1 地域の魅力や，市民生活の豊かさが高まるよう，地域との調和に配慮し，地域文化・コミュニティ・経済の発展に貢献するとともに，観光客に対しても，地域のルールや習慣を伝えていきましょう。

(質の高いサービス・商品の提供・人材育成)

- 2 観光客が感動し，京都を再び訪れたいと思っただけのよう，京都の歴史や文化，伝統を学ぶとともに，観光客それぞれの文化や生活習慣をよく理解し，敬意，おもてなしの心でサービス・商品の質を高めていきましょう。

(環境・景観の保全)

- 3 京都の美しい自然やまちなみと地球環境の保全につながるよう，地域の自然環境や景観に配慮するとともに，環境にやさしい事業活動を行いましょう。

(災害や感染症等の危機に強い観光の実現)

- 4 誰もが安心・安全で過ごせるとともに，事業を継続し，従業員の雇用を維持できるよう，災害や感染症，事故等に注意し，十分に備え適切に行動しましょう。

<観光客の皆様と大切にしていきたいこと>

～京都をより深く味わい，楽しむために～

(地域文化・コミュニティへの貢献，市民生活と観光の調和)

- 1 市民の暮らしを敬意，京都の歴史や文化，伝統の継承・発展に貢献できるよう，地域のルールや習慣を尊重して行動しましょう。

(環境・景観の保全)

- 2 京都の美しい自然やまちなみと地球環境の保全につながるよう，地域の自然環境や景観に配慮するとともに，環境にやさしい観光を行いましょう。

(相互理解・交流)

- 3 京都への来訪が，異なる地域を知り，文化を認め合い，かけがえのない体験となるよう，京都の人々や地域と積極的にふれあうとともに，京都の魅力を伝えていきましょう。

(災害や感染症等の危機に強い観光の実現)

- 4 誰もが安心・安全で過ごせるよう，災害や感染症，事故等に注意し，適切に行動しましょう。

<市民の皆様と大切にしていきたいこと>

～京都に暮らす誇りをもち，かけがえのない京都の魅力を将来に引き継いでいくために～

(地域文化・コミュニティへの貢献)

- 1 京都の歴史や文化，伝統などが将来にわたって引き継がれるよう，京都の魅力を知り，学び，存分に楽しみ，誇りを持ってその維持・発展に協力しましょう。

(環境・景観の保全)

- 2 京都の美しい自然やまちなみが将来にわたって引き継がれるよう，日常的な美化活動や緑化活動を行い，その保全に協力しましょう。

(相互理解・交流，災害や感染症等の危機に強い観光の実現)

- 3 観光客との交流が，精神的な豊かさを向上させるとともに，友好の輪が広がる機会となるよう，観光事業者・従事者等とも協調しつつ，観光客を敬意，あたたかいおもてなしの心で接しましょう。

